

# しが「読み解く力」～実践編～

## 【中学校 外国語科】

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 【中学校：外国語科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる  
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

- ◇Input-Intake-Outputの授業展開において、  
「4技能を総合的に育成する言語活動」で知識  
や情報をIntakeすることを通してOutputする  
力を高める授業づくりができているか。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 単元名「思い出の行事」（中学校第1学年）

小学6年生に中学校生活の楽しさを伝えるために、学校行事の思い出について、事実や自分の考え、気持ち（感想）などを整理し、読み手を意識して、これまでに学んだ語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 第1時

- ①単元のゴールを共有し、ゴールのイメージをもつ。
- ②思い出の行事を紹介するために必要な語彙や表現を確認する。
- ③モデル文（複数例）を読んで、構成を理解する。
- ④紹介する行事を決め、モデル文を基に構成を考え、3文の英語で書く。

## 第2時【本時】

- ⑤本時の目標を知る。
- ⑥それぞれが書いたものをグループで交流し、互いに質問したりアドバイスをしたりする。
- ⑦グループでの交流をもとに、読み手を意識したよりよい内容となるよう、英文を書き直したり、書き加えたりする。
- ⑧小学校へ送るアルバムを完成させる。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 **本時の目標**
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



自分の「学校行事の思い出」について、読み手を意識した、まとまりのある文章を英語で書くことができる。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## (1) 課題を見つける・(2) 見通しをもつ

### ○課題を確認し、見通しをもつ

- ・小学6年生に中学校生活の楽しさが伝わる よりよい英語の内容にするために、グループでの交流を行い英語を完成させる、ということを確認する。

## (3) 共に学び合う

### ○グループで共に学び合う **Input ⇔ Intake ⇔ Output**

- ・グループ内で、互いの英文を発表し合う。
- ・発表者に英語で質問をしたり、英文の書き方等について、互いにアドバイスしたりする。
- ・発表者は英語の質問に答える。

課題発見・解決のプロセス      課題を見つける ≫ 見通しをもつ ≫ 共に学び合う ≫ 自分で考える  
≫ 学習をまとめる ≫ 学習を振り返る ≫ 新たな課題を見つける

## (4) 学習をまとめる

### ○自分で考える **Intake⇔Output**

- ・グループで交流したことを元に、読み手（小学6年生）を意識した内容となるよう、英文を書き加えたり、書き直したりする。

## (5) 学習を振り返る

- ※グループ交流等を通じて、理解の深まりや表現の広がり等について振り返るようにする。

課題発見・解決のプロセス      課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 共に学び合う ≧ 自分で考える  
≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



- ・ グループで互いの発表を聞いて、その内容を理解し、必要な情報を取り出す姿。(B①)
- ・ 友達の発表から捉えた内容について、質問やアドバイスをする姿。(B②)
- ・ 友達の発表内容やグループ内でのやりとりを基に、自分が書いた英文の内容を整理する姿。(B②)
- ・ 小学6年生に中学校生活の楽しさが伝わるよう、よりよい英語になるように内容を練り直す姿。(A②③)



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



# 1. 課題を再確認し、見通しをもつ

前の時間に書いた文章を、  
小学生にもっとわかりや  
すいものにするぞ。

6年生に中学校の楽し  
さを知ってもらうため  
に、いろいろ工夫して  
みよう！





2. グループ交流を通して、共に学び合う①  
グループで互いの発表を聞いて、内容を理解し、  
必要な情報を取り出す。 **Input**

Aさんは文化祭が一番思  
い出に残っているんだな。  
前の時間の例文のあの表  
現を活用しているな。

BさんとCさんは同  
じ「体育大会」を  
話題にしているけ  
ど、理由や表現の  
仕方が違うな。



3. グループ交流を通して、共に学び合う②  
友達の発表から取り出した情報について、質問やアドバイスをしたり、発表者は友達からの質問に答えるという「やりとり」を通して、自分の英文の内容や考えを整理する。



Input ⇔ Intake ⇔ Output

きっと、小学生なら  
もっとこんなことを  
知りたいだろうから、  
こんな質問をしてみ  
よう。



小学校で習ったあの表  
現を使った方が、もっ  
とわかりやすくなるん  
じゃないかな。

## 4. 自分で考える

グループで交流し、得た情報等をもとに、読み手（小学6年生）を意識したよりよい内容となるよう英文を書き加えたり、書き直したりする。

**Intake⇔Output**



この部分を、グループ交流で○○さんが使っていた表紙を使って書いたら、より小学生に伝わりやすくなるのではないかな。

小学生にもっと中学校の行事に興味をもってもらえるように、△△とを書き加えてみよう。



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

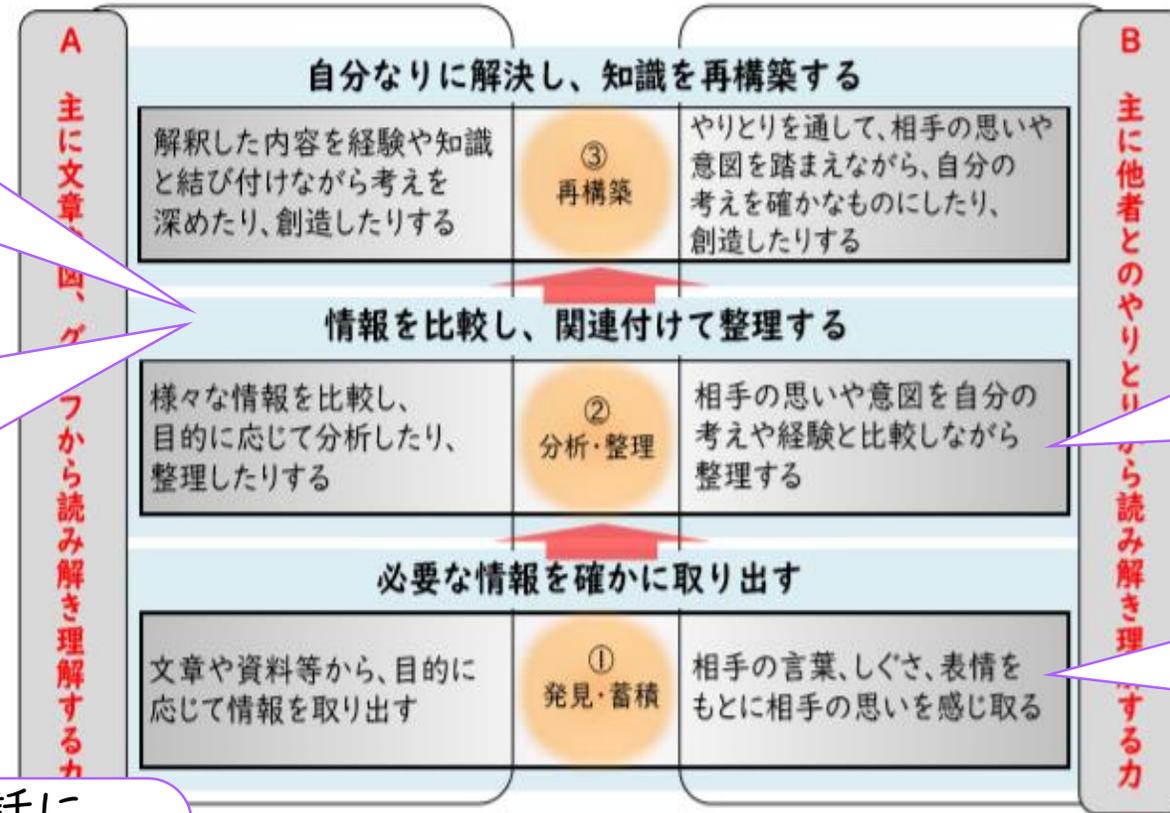
【本時で付けたい力】

自分の「学校行事の思い出」について、読み手を意識した、まとまりのある文章を英語で書くことができる。

より小学生に伝わりやすくするために、グループ交流で聞いたあの表現を使って書いてみよう。

さっきの交流で質問された内容やアドバイスをもとに、より興味をもってもらえる内容にするぞ。

6年生のみんなにも、お世話になった先生にも、がんばっているところを見てもらえるチャンスだ！



Aさんの表現の方が、自分の表現より気持ちが伝わりやすいな。

一番の思い出が一緒でも、それぞれ理由や表現の仕方が違うな。

目的意識

前の時間に書いた文章を、もっとわかりやすくするぞ。